

# サイレント・トライマット TS-FP40/50/70SB 施工要領書

ホテル・マンションなどの階下・隣室への音の伝わりを軽減する防音床下地材

## 【施工要領】

### 下地の確認

#### 《モルタル下地》

下地は、平坦、平滑に仕上げ、施工後2週間（冬季は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認してください。

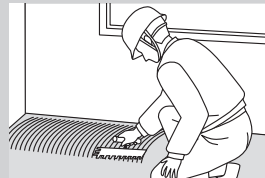
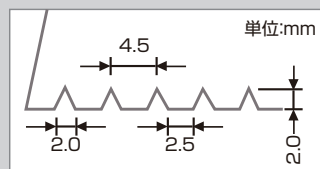
### 床下地材 TS-FP50SB（以下マット）の施工

#### 《マットの上下面とも同じ接着剤をご使用ください》

- ウレタン樹脂系接着剤（推奨接着剤：スーパーウレタック（株）タイルメント社）

#### 《モルタル面接着剤塗布》

- 規定のクシ目ゴテ（右図）を使用して塗り溜りが出来ないように接着剤を均一に塗布します。



#### 《マットの貼付け》

- 製品はロール品でのご提供になりますので事前に巻きぐせをとってください。
- マット白色面を表面（仕上げ材側）として施工してください。
- マット接合部と仕上材接合部が重ならないよう割り付けてください。
- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取りマットを貼始め、貼付け可能時間内に貼り終えてください。

主成分	ウレタン樹脂	
	待ち時間	張付け可能時間
5℃	20～30分	60分以内
23℃	10～20分	50分以内
35℃	約10分	40分以内



- マット貼付け後、接着剤が硬化するまで（夏期 24 時間以上、冬期 48 時間以上）の養生します。養生期間中は歩行や重量物の運搬をしないでください。

### 仕上げ材（塩ビタイル）の施工

#### 《マット面の接着剤塗布と仕上げ材施工》

- マット面への接着剤塗布（クシ目ゴテ）は基材への吸い込みがありますのでクシ目サイズを大きくして塗布量をアップしてください。  
【例】 規定クシ目 33 本の内、約半分を高さ 2 mm から 3 mm 程度に修正
- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取り仕上材を貼始め、貼付け可能時間内に貼り終えてください。
- 仕上材貼付け後、ローラーやハンドローラーなどでよく圧着します。1～2 時間後に再度圧着します。床材に浮きが認められる時は、接着剤が硬化するまで重りなどを置いて養生してください。